

いわて県連だより

【第91号】 発行日：2026年4月 発行責任者：自由民主党岩手県支部連合会



自民党

第93回 自由民主党大会 開催



令和八年四月十二日、都内にて自由民主党大会が開催されました。第93回大会のコンセプトは「挑戦」。先の衆議院総選挙で高市総裁が「挑戦しない国に未来はない」と訴えたように、自民党自身も次の三十年を見据え、時代の変化に柔軟に対応しながら飽くなき挑戦を続けていく決意を全国の党員と共有いたしました。令和八年党運動方針は、『日本列島を強く豊かにし未来への挑戦を国民と共に』をスローガンとし、二月に行われた総選挙で三分の二を上回る議席を預かった重責を胸に刻みながらも、党勢回復は道半ばであること率直に示し、立党の原点に立ち返り「国民政党」として現場主義と対話を徹底する決意が明記されました。また、党活動では、選挙対策として来春の統一地方選等に向けて、組織活動と広報活動を強化していくことが示されました。来年の各級選挙に向けて、党本部と一体となって今後取り組んで参ります。

大槌町山林火災に係る災害対策本部の設置



四月二十三日、自民党岩手県連内に「大槌町山林火災に係る災害対策本部」（対策本部長・白澤勉県連幹事長）を設置しました。二十五日には、鈴木俊一会長他、県連役員も被災地へ入り、災害情報の収集・把握を行うとともに、避難所をお見舞いし、地元の方から直接お話しを伺って参りました。鈴木会長は「予断を許さない状況にあり、被害の拡大を最小化するところが一番重要だ。（鎮火後の）次の段階に進めば、町と県、国が力を合わせて対応する」と話しました。今後大槌町と連携し、被災者支援等、全力で当たってまいります。

青年局定例会・女性局総務会 開催

四月十五日、青年局定例会を開催いたしました。菅原亮太青年局長から、本年の活動方針および活動計画を説明し、局員と意見交換を行いました。本年は若者や青年層へ向けた取組を強化し、現在行われている大臣によるシリーズ講座の活用や、県内大学生との意見交換会、毎年行っている全国一斉街頭において、地元青年層との意見交換会を開催していくことを確認しました。女性局は、二十四日に盛岡市内にて、総務



当日は白澤勉県連幹事長も出席され、鈴木あきこ女性局長から昨年度の成果を踏まえ、令和八年度は、更に体制を強化し、意見交換会・街頭演説・議員勉強会を三本柱に実効性ある活動を展開し、幅広い団体との連携を深め、地域課題の共有と政策提言に繋げるとともに、女性議員増加に向けた環境整備や人材育成を推進していくこととしました。さらに組織運営の強化と党勢拡大を図り、『岩手キラ大作戦』をスローガンに掲げ、継続的に発信力ある活動を進めていくことを確認しました。



みんなの横顔 ⑪

岩手県議会議員 神崎 浩之さん



介護相談員時代「世の中というのは、現場の事がわからないところ（行政や議会）で物事は決まっている」と憤りを感じ、「ではそっち側に行ってやろう!」と、政治の道に入り・・・一関市議3期+県議4期となりました。

今回の大槌町林野火災では、現地に出向き、①県議として広く災害対応にあたること、②福祉出身・県のケアマネジャーの会長として、医療・介護・障がい等の被害情報収集、施設入所者の避難等サービス調整、かかりまし経費の国への働きかけをしています。

